

佐久市協働のまちづくり推進会議 会議記録（要旨）

日 時：令和3年3月24日（水）

13：30～16：30

場 所：佐久市役所8階 大会議室

出席者：佐久市協働のまちづくり推進会議委員9名

事務局（広報広聴課長・広報広聴課職員・望月支所総務税務係職員）5名

1 開会

2 会長あいさつ

3 会議事項

(1) 令和3年度佐久市まちづくり活動支援金事業の公開審査

ア 事務局より審査の流れ等について説明

審査は1事業ごとの書類審査し、審査員が所属する団体が応募した場合は、当該審査員は当該団体の審査をすることが出来ない。

審査員1人当たりの平均点数が高い事業から決定となる。

審査員1人当たりの平均点数が15点に満たない団体は、予算の範囲内であっても推薦は行わない。

審査の順位に基づき、上位の事業から予算の範囲内で支援金を割り当てる。

重点テーマに該当する事業については、評価した点数の合計にそれぞれ5点を加算する。

イ 事務局から事業概要及び委員から団体に提出した質問についての回答説明を行ない、その後、質疑応答

ウ 審査

次の順で審査

① ゆるり移住 x 先住者交流@SAKU

② 青空カフェ事業

③ ～僕たち私たちにもできる～災害に強い!地域防災の輪 39 ウイズコロナ

④ 常和を元気にする復興まちづくり事業

委員：「防災士受講料」は需用費ではなく、その他の必要経費ではないか。

事務局：経費の区分に関しては、事務局で検討のうえ審査員の皆様にご報告したいと考える。

⑤ ド根性 さくっこ事業～笑顔 SaKu 体験から学びへ～

⑥ 親子で木もれびサロン

⑦ 郷土芸能継承事業

⑧ カラマツフェス～NO KARAMATSU NO LIFE～

審査後は集計のため、次の会議事項へ

(2)「支援金事業審査についての意見交換」

ア 事務局より説明

支援金の審査方法に係る部分について見直しを検討しているため、ご意見賜りたい。1点目は今年度より申請者と審査員のやりとりを書面のみにしたが、以前あったプレゼンテーションがあった時と比べてどうか、2点目は申請団体より申請書の記載事項が多くて大変という意見があるが、審査員は申請書についてどう考えるか。これ以外でも、皆様が支援金のご審査をいただく中でご意見等お伺いしたい。

イ 意見交換

委員

申請書の項目を減らすなど考えてもらってもいいのではないかな。

委員

私も以前は支援金を申請する側で、プレゼンテーションはやりたくないと思っていたが、実際に審査する側になると、どのような団体が、どのような決意を持ってこの事業に取り組まれたのかを見たいと思った。また、質問のやり取りについて文面だと、言葉だときつくなり、あら探しをするような感覚がある。温かい雰囲気でのアドバイスをするような立ち位置でやり取りができると、審査員と申請団体との関係も良くなるのではないかなと思う。やはりプレゼンテーションはあったほうがいいのではないかなと個人的に思う。

委員

どういう団体かというのが分からないので、やはり書類だけだと分かりにくい面がある。

委員

プレゼンテーションはそれほど求めないけれども、(書面での) 質疑応答がすれ違うというか、こちらが望んでいることが返らないときにその場にいれば、これはどうですかと質問することができるので、それは必要だと思う。プレゼンテーションは負担が大きくて必要は感じないが、何を狙っているのかというのは顔を合わせた方が伝わりと感ずる。

委員

プレゼンテーションをやると時間がかかるということもあると思う。

委員

我々は書類を先に見ているため、3分から5分説明をしてもらいう方法もあると思う。

事務局

皆さんからいただいた意見をもとに事務局で検討していきたいと考えている。

(3)「佐久市協働のまちづくり計画」について

ア 事務局より説明

第1次の計画期間が令和3年度で終了すること、また、多様化する市民ニーズや社会情

勢に応じた計画とするため、第1次計画期間の現状と課題を踏まえ、今後5年間の協働のまちづくり推進の方向性を示すものとして策定する。

スケジュールについて、4月に推進会議と市民活動サポートセンターそれぞれで、これまでの行動計画の検証、同時期に市民アンケート（インターネット市政モニター）と市民活動団体に対するアンケートを実施し、協働や市民活動についての意識調査を実施する予定。学生や若い年齢層からの考えや意見を聴くため、サポートセンターを中心にワークショップを行う検証結果による課題や市民からの意見を聴きながら、骨子案を作成。骨子案についてのパブリックコメントを実施し、市民の意見を聴きながら、素案を作成。その後、素案についてのパブリックコメント・住民説明会を実施後、計画策定となります。

第1次計画期間の取組における成果と課題について、4月に皆様のご意見をお聴きしたいと考えている。

イ 委員からの意見

委員

5月のワークショップは若い方を中心にとのことだが、これは年代を問わずにやった方がいいのではないか。また、パブリックコメントの意見募集の前にワークショップをやった方がいいのではないか。骨子案を作ってからワークショップをもう一度やるのがいいと思う。

委員

若者の意見であればワークショップよりも SNSの方が効果があるのでは。

事務局

いただいた意見も参考にしながら、進めていきたいと考えている。

3 令和3年度佐久市まちづくり活動支援金事業結果発表及び講評

結果発表について事務局より発表

申請のあった8事業すべて、審査員1人当たりの平均点数が基準点数以上であった。推進会議より8事業について、市へ推薦する。

講評（会長より）

コロナ禍において社会的な活動が難しくなっていると思うが、今回の申請内容にはユニークな提案がいくつかあり、期待している。地域活動が停滞することの無いよう、継続した取組になることを願う。

4 その他

事務局より、次回の推進会議は4月下旬予定。

5 閉会